

川崎警察署文書

【1】

自由党

○山田泰造○出川太一郎○伊藤権左衛門○青木豊十郎 川田彦太郎
○田中亀之助

自由党主義

○池上彦□○大山庄兵衛○須山八郎右衛門○石渡清太郎○石渡庄左衛門○高橋助三郎○青山久次郎○片倉房二郎 石渡平五郎○伊藤市兵衛○石渡藤太郎○石渡金五郎 藤田彦太郎○中山真吉○須山総五郎○須山四郎左衛門 石渡金太郎○寺尾喜助○石渡(□)忠右衛門○木村作次郎 寺尾久左衛門○和泉昌(□)二郎○武藤萬吉○武藤義太郎○佐々木義太郎○和泉八郎兵衛○和泉源三郎○和泉丑五郎○藤川房次郎○和泉源左衛門○小舩内慶助○森松太郎(□□)○齊藤丑之進

○大同派員

吉田正晴(「春」カ)○小野鱗之助○添田知義○深瀬啓十郎○島田武助○

○大同派主義

平川平五郎○吉沢忠兵衛 渡辺仙之助○横山武左衛門 榎本万次郎
黒川太三郎○深瀬半兵衛

○改進黨員

岩田道之助○高橋善右衛門○金子浅次郎

○改進黨主義

* 根本□□□(「節之助」カ)○□□(「野口」カ) 助右衛門○小宮誠三郎○(□)○高橋太一郎 青木勝次郎○内田佐五右衛門 倉形次郎左衛門○石井清太郎○石渡太助○(高橋善右衛門)○徳植竹之丞○(□□□□□□)川島勘左衛門 石川長造(「蔵」カ)

(欄外注記)

川崎(七) 八人
大師(五) 六人
田島(四) 五人
町田(四) 五人
御幸(五) 六人
住吉(二) 四人
日吉(五) 六人

【2】

秘川乙第十七号

定時報告

一都築郡旧県會議員佐藤貞幹ハ衆議院議員ノ候補者タラント欲シ頻リニ奔走(只今)橘樹郡内ニ(モ)入り勧誘中ノ趣キ然レ共未タ其勧誘ノ手段ヲ知ル能ハズ専ラ探偵中ニ在之候
右ノ外報告スヘキ事故無之此段上申候也

明治二十三年

該分署長

四月廿二日

警部長

【3】

秘川乙第十九号

秘橋乙第四十五号ヲ以テ政黨員二名ノ性行履歴等取調之義御達之趣了承□□□□之件別紙之通りニ取集此段上申候也

但し岩田道之助分ハ□□リ子細本部へ報告も有之為念副申候事

明治二十三年

該分署長

四月十九日

橘樹郡警察署長殿

【4】
秘橘乙第四十五号^{*1}

今回別紙氏名之者改進黨へ加入之旨届出候段警視庁ヨリ通報有之候
条其挙動等特ニ注意シ且性行履歴表至急差出スヘキ旨本部長ヨリ内
達有之候ニ付此段相達ス

明治二十三年四月十六日 橘樹郡警察署長

警部 田中英一^{*2}

川崎分署長

警部 岡田宗直殿

別紙

橘樹郡川崎町

岩田道之助

全郡島田村 島田ハ田島ノ誤チニテ

田辺佐一郎

* 1 (印文) 「明治廿三年四月七日 時、第十二号」(傍線部は墨書)

* 2 (印文) 「神奈川県橘樹郡警察署長」

【5】

川第四三〇号

兼テ大師河原村差□(「蹉」カ)クノ件モ今回ハ先ツ平穩ニ帰シタル
模様ニテ昨十七日ハ別紙報告之通り親睦会ヲ開キ候条御参考迄ニ此
段上申候也

明治二十三年

四月十八日

橘樹郡警察署長

警部 田中英一殿

川崎分署長

警部 岡田宗直

【6】

秘川乙第十八号

臨時報告

一 橘樹郡撰出衆議院議員候補者山田泰造ハ兼テ地価修正ニ抛リ被撰
ノ資格ヲ失ヒタルガ橘樹郡旭村小塚清五郎ノ遇旋^(マダ)ヲ以テ昨十七日
同村同字ニ住居スル同苗字即チ山田七五郎ノ養子ニ為リ彼ハ資格
ヲ復シタル由ニ候

一 同ク候補者吉田正晴(「春」)ハ今度橘樹郡子安村飯田彰重方へ
原籍ヲ移シタル由但シ寄留籍ハ従前ノ通り橘樹郡御幸村南河原七
百五十二番地ニ有之候

右ノ通り探知候付此段申報候也

但シ本件ハ至急ヲ要スル事故ニ無之如クナレ共(「地廻」)徘徊ノ
時節柄ニ付或ヒハ御参考ト相成哉モ難計故ニ臨時ヲ以テ報告致
候為念副申候事

明治二十三年

四月十九日

警部長

【7】

秘川乙第二十号

定時報告

一 衆議院議員候補者ニ付テハ漸々競争ノ模様ヲ顯シ自由党山田派ノ
□□ハ密カニ手下数名ヲ諸村ニ遊説セシメ大同派即チ吉田派ヲ妨
害セントスルノ模様アレ共未タ其所為ヲ探知スル能ハズ

一 改進黨員ハ肥塚龍ヲ橘樹郡外二郡撰出ノ議員タラシメント尽力中
之由

一 貧民ハ兼テ上申□□候通り日々ニ切迫ノ模様有之從ツテ乞食ノ徘徊
甚タ多ク亦目今之犯罪事件中食物ノ欠乏ニ原因スルモノ甚タ多シ
然レトモ多クハ他所ヨリ入り来ルモノニシテ部内住居之者尤モ僅
少ナリ

右ノ外各項共異事無之此段上申候也

明治二十三年

四月二十二日

警部長

該分署長

【8】
秘川乙第二十号

兼テ衆議院議員候補者山田泰造撰挙□□部内田島村、長青木豊十郎等數十人ノ周旋ヲ以テ〔明治廿七日〕久橋郡三郡有志〔之〕者〔□〕百余人ハ明治廿七日神奈川町名古屋楼ニ於テ懇親会ヲ開ク由探聞候ニ付為御参考此段上申候也

但シ警部長ヘハ別段上申不致候間貴殿〔ヨリ〕ニ於テ可然御取計相成度候

明治廿三年四月廿六日

該分署長

橘樹郡警察署長

【9】
秘川乙第二十二号

請求書

一金参円

明治二十三年四月中高等警察ニ関スル機密費支払高

右請渡相成度此段及請求候也

明治二十三年四月三十日

川崎分署長

警部長宛

警部 岡田宗直

支出明細書

一金参円

内訳

金貳円 巡查石井亥吉ニ渡ス〔□□□□〕

金壹円 警部岡田宗直政党ニ費消ス

右之通り支出相違無之候也

明治二十三年

川崎分署長

四月三十日

警部 岡田宗直

警部長

【10】
秘川乙第二十四号

定時報告

一川崎町深野半兵衛ハ先年吉田正春ニ從ヒ各所ヘ奔走セシガ地所及ヒ金銭貸借上ヨリ不和ヲ生シ爾来山田泰造ノ手ニ從ヒ居リシガ先日田中龜之助森松太郎等ト自由党ニ加入シ諸所ノ演説会ヘ臨ミ壯士ヲ称ヘ居リ候

一住吉村旧村長高橋善右衛門ハ曩キニ改進黨演説ノ折リ尽力セシモ近来ハ又タ山田泰造ヲシテ衆議院議員候補者タラシメンコトヲ勉ム其手段ハ山田ノ写真名刺等ヲ自村或ハ近村ノ重ナル者ヘ送テ投票ノ節ハ此人ヲ撰挙アランコトヲ依頼スルト云フニアリ詳細ハ目下探偵中ニ有之候

右之外各項共異事無之此段上申候也

明治廿三年五月十二日 川崎分署長代リ〔「理」〕

警部 黒河内良

【11】
秘川乙第二十五号

警部長 高橋仲次殿

秘官外第十号号御達板垣伯上京ニ付政党员若クハ政治思想ヲ有スル者ノ感情云々ハ当郡内ニ於テハ偶々証スル者アルモ甚々僅少ニシテ目下何等ノ感情モナク又タ自今運動ノ模様モ無之候此段上申候也

明治廿三年五月十二日 川崎分署長代リ〔「理」〕

警部 黒河内良

【12】
秘川乙第二十六号

臨時通報

一大師河原村会議決ノ景況

一本月十日午后七時頃ヨリ役場ニ於テ村会ヲ開キ出席ナシタル議員ハ左ノ如シ

(村長及議長)

石渡 忠右衛門

全 七左衛門

全 藤太郎

(助役)

木村 作次郎

大山 庄兵衛

泉(「和泉」) 源三郎

以上六名ハ新村長党ト称ス

(旧村長)

内田 三(「佐」カ)五(「右」脱) 衛門

倉方(「形」カ) 治郎左衛門

石井 新太郎

櫻井 佐七

石川 長兵衛

(旧助役)

府(「布」カ)川 久次郎

石渡 太助

以上七名ハ旧村長党ト称ス

右ノ者共カ当夜最初議シタル議題ハ収入役寺尾喜助ノ辞職願ハ正当ナリヤ否ト云フ論題ニシテ遂ニ辞職ハ正当(「ニシテ」ナルコトニ決議セリ蓋シ辞職ノ原因ハ貧困ニ陥リ為メニ一時村費等ヲ立替置クコト能ハサルニアリ元來該村ノ習慣ハ収入役ガ一時自家ノ金ヲ以テ立替(「□」)置キ後ニ租税等ヲ徴収スルニアルヲ以テ身代ノ富有ナル者ニアラサレハ職ヲ奉スル能ハスト云フ右(「□」)議決ハ静穩ニ行タルモ後ニ議題トシテ議場ニ現ハレタル件ニ付頗ル村内ノ囂々ヲ生スルニ至レリ其景況ハ乃チ左ノ如シ此ノ夜傍聴席ニ居リタル村民二名ノ者ハ議會ニ向フテ請願書ヲ差出シシタリ其二名ハ左ノ如シ

(学務委員) 泉(「和泉」カ) 源右衛門

川嶋 富右衛門

右二名ハ百廿名ノ惣代トシテ旧村長内田三五衛門(目下議員)櫻井佐吉(「七」カ)(全)石川長造(「蔵」カ)(全)(川島)石井新太郎(全)ノ四名ヘ対シ左ノ如キ書面ヲ呈セリト

云フ

一 養員場ノ費用千五百円ノ精算報告ヲナシ不正ノ廉ナキヲ明示スヘキ事

一 昨年迄ハ海苔場ノ費用トシテ海苔営業者殆ント四百名許ヨリ一人ニ付壹ヶ年一円廿銭ツ、徴収シ費消シタル精算報告ヲナシ不正ノ廉ナキヲ明示スヘキ事

右二ヶ条ヲ認メタル請願書ノ議場ニ出ルヤ新村長党ノ議員ハ之ヲ議スヘシト云ヒ旧村長党ノ議員ナル被告ノ一人石井新太郎ハ之ヲ不可トシ目下役場ノ費用嵩ムヲ以テ可成冗員ヲ減スヘシ依テ筆生ノ如キ者ニシテ必要ナラサル贅員ヲ解雇スヘシト云フ論題ヲ呈出シ議場一時騒然タリシカ遂ニ左ノ四名ハ腹痛ナリトカニテ退席セリト云フ

内田 三五衛門

櫻井 佐吉

石川 長造

石井 新太郎

右ノ景況ナルヲ以テ泉源右衛門川島富右衛門ノ請願書ハ受理スヘキモノナルヤ否ヤヲ決セスシテ全夜十一時頃解散セリ尤モ暴行等ノ事ハナシ

一 本月十五日午後七時頃ヨリ役場ニ於テ再度村会ヲ開キ出席ナシタル議員ハ左ノ如シ

石渡 忠右衛門

全 七左衛門

全 藤太郎

木村 作次郎

大山 庄兵衛

右ハ新村長党

府川 久次郎

石井 新太郎

櫻井 長造

右八旧村長党

抑モ当会ヲ開ク為メ公然ヘ(「ト」カ)議員ヘ通知シタル議題ハ収入役欠員ナルヲ以テ之ヲ選定スル趣ナルノ所愈々議員議場ニ列シタル場合ニ至リテハ収入役撰定ハ重ナル議題ニアラスシテ十日ノ夜退席シタル議員内田三五衛門外三名ノ処分(ニテアリシ)ト泉源右衛門等ノ請願書ヲ受理シ内田三五衛門等カ不正ノ行為アルヤ否ヤヲ調査スルガ為メニテアリシ故ニ第一欠席ハ正当ナルヤ否ヤノ論題ヲ議場ニ呈出シタルニ遂ニ正当ノ理由ナクシテ欠席シタルハ不正ナリ依テ該四名ハ退職者ト議決セリ然シ此ノ議決ニ対シ府川久次郎外二名ノ者ハ一言モ反対ノ議論ヲ吐カス石渡忠右衛門外四名ノ議決ヲ聴キ從容トシテ退席セリト云フ

亦府川久次郎等ノ退席スルヤ直チニ泉源右衛門等ノ請願書ヲ受理調査スルコトニ決定シ遂ニ目下ハ内田三五衛門等ニ不正ノ廉アルヤ否ヤヲ調査中ニシテ其調査委員ハ左ノ三名ナリ

新村長派 (〔□□□□〕)

石渡 藤太郎

全(尤モ中立〔党〕ノ傾キアリ)

全 七左衛門

旧村長派

府川 久次郎

右縷述セシ所ハ両夜村会ノ景況ニシテ泉源右衛門等ノ請願書ヲ呈出スルニ至リタル理由ナリト云フ風説ハ左ノ如シ

一 養貝場及海苔場世話人ハ明治廿二年七月頃迄ハ石川長造川島

勘左衛門ノ二名ニテアリタルノ所明治十七年頃ヨリ昨廿二年

七月頃マテニ養貝場ノ入費トシテ費消シタル金高ハ千五百円

許ナリ此ノ多額ノ費用ハ如何ナル事ニ遣ヒタルヤ此ノ如キ大

金ヲ消費スル道ナシ今石川長造等ガ費用シタリト云フ費途ハ

二人ノ番人(月々二円五十銭ツ、ノ手当金ト〔□□□□〕)其外

飲食等ノ為メナリ此ノ飲食タルヤ羽田村ノ海苔業者ト交際

ヲナシ(波)風波ヲ起サス事ヲ処理ナス為メ(ナレハ)或ハ

羽田村ノ業者ヲ遊里ヘ誘導馳走スル等ノ(為ナリ)挙アリト

セハ止ヲ得ス世話役ノ為シタル遊興費ヲ正当ノ事トスルモ不

可ナシ敢テ遊興費ニ充タルヲ不正トセス亦攻撃ヲ加フルコト

ヲナサス然シ遊興費ニ費消シタリト云フ而已ニテ果シテ消費シタルモノナリト云フコトヲ証明セス世話役ハ遊興費ニ費消セリト云フハ詐言ニシテ内実ハ否ラス窃ニ自家ヲ肥シタルモノ也川島勘左衛門ノ如キハ(廿)十年前頃迄ハ泉茂ハナル者ヨリ僅カ廿円ノ金ヲ借り之ヲ返済スルニ窮シタル位ナリ然ルニ方今ノ身代ハ一(□□)万円以上ノ財産アリ此ク巨多ノ財産中ニハ必ス千五百円ノ金ガ交リアルナラン

亦海苔場ノ費用ハ昨年迄一戸ニ付一円廿銭ツ、ヲ徴収セルヲ以テ殆ント四百人許ノ業者ヨリ毎年徴収スル合計金高ハ四百八十円ナリ然ルニ明治廿二年八月頃ヨリ世話役ヲ改選シ倉方治郎左衛門櫻井左吉ノ二名トナシタル以來ハ海苔場ノ費用

ハ一戸ニ付七十銭ツ、ト減シタリ惣計減シタル金高ハ二百円ナリ世話役改選以來ハ此ク二百円ノ大金ヲ減シ(□□)二百八十円ノ費用ニテ充分海苔場ノ費用ニ差支ナシト云フハ抑モ如何ナル事件ノ為メニ旧世話役ハ四百八十円ノ費用ヲ消費シタルヤ然ルニ其費途ヲ証明スルコト能ハス亦(然ルニ)道路ノ風説ハ川島勘左衛門ノ如キハ養貝場ノ費用金ト海苔場ノ費用金トノ中ヨリ七千円程モ窃取シタリト云フ旁々費途ヲ証明スル

為メ精算報告ヲ請求セハ(事)曖昧ノ答弁ヲナシ日一日ト遷延シ不当ノ行為ナキコトヲ明白表示スルコト能ハス之レ必ス不正ノコトアルナラン云々

亦當時ノ村長タリシ内田三五衛門ハ旧世話役ヨリ不正(□□)金ノ千円程モ貰請ケタルコトアリ亦三五衛門等ト共ニ助役ヲ

ナシ居リタル府川久次郎等ノ如キモ不正金ヲ収得シタルナラン云々

亦養貝場費用帳簿ト海苔場費用帳簿検閲スル為メ泉源右衛門

等ハ内田三五衛門ニ請求シタルモ遷延シ之ヲ示サ(□□)ザリ

シト云フ蓋シ此ノ帳簿ハ内田三五衛門ヘ保管シアルト云フ

一 明治十七年頃ノ村會議員攻撃ノ紛議

本件紛議モ大師河原村ニシテ明治十七年頃全村会ニ於テハ寄地ヲ全年頃五百円ニテ売却シ内二百円ハ村費ニ宛テ残り三百円ハ当時村長タリシ内田三五衛門ヘ報酬トシテ投与スルコトニ決議シ遂ニ三五衛門ヘ惠与シタリ然ルニ此ノ事ガ今日ニ至リ紛議ノ一ケ条トナリ目下ノ村會議員ハ大ニ沸騰シ三百円ノ大金ヲ村長ニ給与スヘキモノニアラス村長カ果シテ三百円〔□〕ノ金ヲ請取ルヘキ理由ニ至リテハ何等ノ事モナシ村長ノ職務ヲ執行スル点ニ付テ三百円ノ損耗アリトセハ〔勿論〕村民タル者敢テ苦情ヲ鳴ラサ、ルハ勿論好シテ投惠スルコトニ全意スルモ何等ノ理由モナキニ大金ヲ投与スルノ議決ヲ旧村会カナシ既ニ執行ナシタルハ村民ノ權利ヲ害シタルモノナリトテ旧村會議員ヲ攻撃最中ナリト云ヒ其攻撃論者ハ左ノ如シ

石渡 藤太郎

大山 庄兵衛

木村 作次郎

泉 源三郎

石渡 清次郎

右ハ新村長党

右ノ者共ハ攻撃論者中ニ於テ巨魁ノ位置ニ居ルモノ也

亦被攻撃者ノ人名ハ左ノ如シ

石川 (忠兵衛) 長造

内田 三五衛門

櫻井 佐吉

右事件ハ目下談判中ナリ

一 寄地千五百円売却代金ノ行遣

此ノ事件モ大師河原村ニシテ旧村長内田三五衛門ト新村長黨員ノ間ノ紛議ノ一ナリ今其模様ヲ探聞スルニ明治廿二年二月申ニ寄地ヲ千五百円ニ売却スルコトニ村会ハ議決シ當時ノ村

長内田三五衛門ハ四五名ノ村民ヘ千五百円ニテ売却シ此ノ千

五百円ノ金ハ委(「悉」)皆新道新設ノ際水吐キヲ煉瓦ニテ

新築スル〔□〕為メ消費シタルヨシ然ルニ新村長黨員ハ

曰ク或ハ千二百円位ハ消費シタルナランガ三百円ハ窃取シタル

〔ナラン〕ニ相違ナシ依テ工事担当人タル旧村長ニ於テ該費

途ノ不正ハ毫モナキ旨主張スル以上ハ之ヲ証明ス(「ヘシ依テ」

ル為メ仕様帳ヲ明示スヘシ故ニ是非検閲ナシ度キ旨石渡藤太

郎或ハ木村作次郎カ首唱者トナリ内田三五衛門ヘ目下談判中

ナリト云フ

右探聞スル所報告候也

明治廿三年五月十七日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

【13】

秘川乙第二七号

秘乙第四十七号ヲ以テ貴族院議員当撰ヲ得ント運動計画ノ模様等内

偵方御達ニヨリ視察ヲ遂ケ候所本郡ヨリハ老名モ貴族院議員トナル

資格ヲ有スル者ナキカ為メ乎右等ノ件ニ関シ何等ノ運動計画ノ模様

モナク亦談話ヲナス者モナキヨシ探聞候条此段上申候也

明治廿三年五月十九日

川崎分署長

警部 梶田定吉

【14】

秘川乙第二八号

臨時通報

一大師河原村々会ノ景況

一本件ニ関シテハ一昨十七日ヲ以テ報告ナシ置候所篤ト事実ヲ

探聞候ニ本月十五日ノ村会ニ於テ議決シタル件ノ中ニハ内田

三五衛門櫻井佐吉石川長造石井新太郎ノ四名ハ町村制第八条

二項ニヨリ三年間公民タルノ權ヲ停止シタルノ議決モアリタ

ルヨシ蓋シ斯クノ如ク村会ニ於テ議決シタル理由ト云フハ四名ノ者カ正当ノ理由ナクシテ濫リニ議員タルノ職ヲ拋棄シ議席ヲ退キタルモノナリト云フ

亦村長石渡忠右衛門(ヨリ)ハ昨十八日ヲ以テ村内一般ヘ該四名ノ者ハ向フ三ヶ年間公民タルノ權ヲ停止シタルコトヲ告示セリト云フ

一去ル十七日ヲ以テ報告セシ書中本月十日午後七時頃ヨリ役場ニ於テ村会ヲ開キタリトセシハ誤リニテ本月八日ナラント被存候(条茲ニ正誤ス)

一右八日ノ村会カ議シタル議題等ノ景況ヲ明白ニスル為メ内偵シ得タル左記質議書等ノ写書類御送付候

一質議書 但和泉源三郎外三名連署

一海苔場紛議ニ関スル費用出金ノ件ニ付上申

但和泉源右衛門外四名連署

一上申 但和泉源右衛門外三名連署

一海苔場趣意金請求書 但高橋助三郎

一質議書 但和泉源右衛門外四名連署

一村會議事録

一本月十五日ノ村会ノ議決シタル事(故)項中内田三五右衛門外三名ノ公民權停止ノ件ハ無効ナリ町村制第四十三條ニ町村会ハ議員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得ストアリ然ルニ石渡忠右衛門 全七左衛門 全藤太郎 木村作次郎 大山庄兵衛ノ五人ニ於テ議決シタルモノナレハ無効ナリ云々(□□)ト申居ル者アルヨシ

右探聞候所報告候也

明治廿三年五月十九日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

質議書

当村海面已下一応了知致度義有之候ニ付左ニ御質問におよひ候

第一海面海苔株売買元簿

是ハ大師河原村旧戸長ノ公証ヲ以テ売買譲与等相成候ニ付テハ該帳簿ヲ役場外へ保存致シ置ク理由ハ有之間敷ニ付熟覽致度候

第二海苔營業者ヨリ年々徵収ノ金額

是ハ營業者中ヨリ年々金円ヲ徵収シ内金五拾円ハ非營業者中ヨリ年々金百円ヲ徵収シ内金五拾円ハ非營業者中へ趣意金トシテ配当スベキモノニテ既ニ頃日此分ニ限り処分濟ニ相成リタリ然レトモ其内金五拾円ハ營業者ヨリ學校費へ寄附ナリ居ルヤ何レノ費途ニ充タルヤ篤ト承引致度候 *「内金」以下十三字衍字

第三村稅其他収支決算ノ件

是ハ村稅土木費ヲ問ハス總テ人民ヨリ徵収スル金円ハ國稅地方稅ヲ除クノ外ハ逸々収支ヲ精算シ議員其他一般一民ニ迄モ報告スルハ村吏其人ノ職務ト被考候然ルヨ官ニ向ツテノ決算報告ト議場ニ提出スルノ収支ト異ルアルハ甚タ不審ヲ抱カザルヲ得ス故ニ去ル明治廿一年ヨリ遡リ旧村吏ハ兔ニ角内田氏在職中ノ収支ヲ精算アラシメト望ム尤モ其事由ニ依リ尚遡ツテ精算ヲ乞フヤ予言スベカラズ

第四元一村共有地ヲ売却セシ件

是ハ字殿町寺尾与七郎等へ一村共有地ヲ売却シ其金額ハ何レヘ支出セシヲ了解セス加之種々ノ流説アリテ該金額支出ノ点ニ疑惑ヲ抱サル人モ有之ヤニ聞ケリ右等ハ不可有ノ事ト信スレトモ強カチ無限ノ説ニモ有サルベシ是亦充分ノ説明書ヲ下附セラレタシ

第五大師河原海面ノ繪図其他ノ書類

是ハ内務省実測ノ図面ニシテ役場ニ存在セルハ至當ニ付各自ノ乞ヒニ依テハ縦覧相成度且海苔場ニ至ツテモ從來役場ノ関涉少ナカラズ然ニハ龐朶試建ノ手續書類其後出願ニ係ル書類等ハ悉皆取揃熟覽致度候

第六蛸場出願費ノ収支

是ハ蛸場宅株ニ付金五拾錢ツ、ノ願費トシテ役場へ徵収シタリ

該徴収金ニテ費用ノ過不足セシヤ否ヤ明細収支ノ帳簿ヲ熟見致
度候

第七海面竹筒營業ニ係ル費

是ハ竹筒營業者ヨリ数年徴収セシ其元簿及支払簿等悉皆一覽致
度候

第八一村共有地ノ他人持ニ転シタル所以

是ハ字塩浜耕地荒地并字ノドクチ六^{百代}即チ藤崎等ノ地所元
ト一村ノ共有地タルモ他人ノ所有スル所トナリタリ之ヲ売却セ
シ金円ノ使用方ヲ了得セス依テ是亦説明書ヲ下附セラレ且支出
ノ明細簿ヲ熟覽致度候

右第一ヨリ第八ニ至ル各項ニ就キ旧村長ヨリ御引継相成候事ハ承知
仕候ニ付充分ナル説明ヲ乞ヒ併セテ諸書類絵図面ニ至ル迄熟覽致シ
置サレハ后来村内公共ニ係ル事物ニ付充分意見ヲ陳フル能ハス若シ
又該書類ノ御引継モ無ク又書類等無之モノトセハ速ニ旧村長へ御照
会ノ上御取揃へ被成下報知ニ依リ直チニ一覽ニ出額可致候間大急御
処理有之度此段連署ヲ以テ及請求候也

明治廿三年四月十二日

大師河原村會議員

和泉源三郎印

大山庄兵衛印

石渡藤太郎印

石渡清次郎印

村長 石渡忠右衛門殿

第一

海苔場紛議ニ関スル費用出金ノ件ニ付上申

一明治廿二年ヨリ全廿三年ニ渉ル海苔場紛議ノ為メニ消費シタル金
員ニ付仮定被告營業者式百七十余名ニ該消費金員ヲ割当出金致サス
ルトノ事ナレトモ該件ニ付原告ト称スル者ハ營業者百十名ニシテ被
告ノ称ヲ受クル者ハ僅々兩三名ニ過キス然ルヨ今回ノ紛^疑ニ関シ
出金ヲ仮定被告入式百余名ニ割当スルハ穩当ナラサル義ト思慮仕
候若シ營業者ニシテ出金スル義ニ有之ハ原告百十名ノ頭上ヘモ

割当シテ可然カトノ考ヘモ有之必スシモ原告百十名ニ割当スル能
ハサル金円ヲ何ソ無責任ノ式百余名ニ割当スルノ理アランヤ此ノ
理由ナキ出金ハ断然停止有之度此段上申候也

明治廿三年五月八日

惣代

和泉源右衛門

高橋助三郎

和泉丑五郎

武藤磯五郎

倉形惣右衛門

第二

大師河原村々會議長 石渡忠右衛門殿

上申

一今回新株二万坪ヲ每人平均ニ割り渡シタルモ未タ該坪其所有主へ
割り渡ラス只ニ鑑札面ノミナラス有名無実ノ所有者ヲ生シ中ニハ
大ニ困難ヲ来ス者アリ左アルトキハ平均割合スルモ困難ノ基礎ヲ
建設シタルト云フ可シ依テ今年度ハ該場小作人ヨリ所有者規定ノ
小作料ヲ役場ニ於テ徴収シ該場所有者へ金員割当有之度尤モ役場
ニテ徴収有之度出願候ハ若シ担当人ニ於テ徴収スルトキハ未タ前年
ノ紛擾ノ湿ノ乾カサル際ナレハ或ハ疑心ヲ生スル人モアランカノ
恐モ有之候間何卒今年度ニ限り役場ニ於テ徴収被成下度此段上申
候也

明治廿三年五月八日

惣代

和泉源右衛門

和泉丑五郎

武藤磯五郎

倉形惣右衛門

第三

大師河原村長 石渡忠右衛門

海苔場趣意金請求書

一明治廿二年度海苔場趣意金未タ割渡無之然ルニ海苔採取モ最早極
ヲ結ヒタルニ明治廿二年度ノ趣意金ノ無之依然何レノ掌中ニア
ルヤヲ知ラス該金員ハ營業者ヨリ未タ徴収セサリシヤ將タ又担当人
ノ掌握スル所ナルカ何レニアレ至急割渡方取計ヒ有之此段請求候
也

明治廿三年五月八日

惣代

高橋助三郎

第四

大師河原村長 石渡忠右衛門殿

質議書

左ニ記載ノ四件未タ拙者共ニ理解シ能ハサル者ニ候間明瞭ナル回答
ヲ乞フ

一 一村共有地ニシテ寺尾与七郎等ニ落札シタル地所売却金員ノ支出
ノ件

二 一村共有地ニシテ寺尾喜助等へ落札シタル地所売却金員ノ支途ノ
件

三 一村共有地ニシテ字囀口宅地跡ト称スル地所ハ誰ノ所有ニ帰スル
ヤ又如何ナル手続ニテ買受ケタルヤ又其売渡金員ノ費途ノ件

四 養蛸株一株ニ付金五十錢ヲ徴収シ其全株數八百余株トノ事ナレハ
徴収金額ハ巨大ナル者ナルカ該金ノ支払明細ノ件尤モ該株金ハ他
ニ支出スヘキ者ニアラスト思慮ス

右四件ノ明細支払ヲ人民一般ニ告示有之度此段質議及候也

惣代

和泉源右衛門

高橋助三郎

和泉丑五郎

武藤磯五郎

倉形惣右衛門

明治廿三年五月八日

大師河原村會議長 石渡忠右衛門殿

明治廿三年五月八日臨時村會議事録

10 内田氏曰海苔株売買原簿ハ戸長或ハ村長ノ公証ヲ附与スルモノニ
無之依テ当役場ニ在ルベキ理由ナシ次ニ第二ノ海苔營業者ヨリ徴
収シタル金員ハ学校費ニ支出シタリ次ニ第二(「三」カ)村税其
他収支ハ明治十二年度ヨリ以降皆役場ニアルヲ以テ精算アルトキ
ハ明瞭ナル可シ次ニ第四一村共有地売却ノ件モ役場ニ存置シ有ル
コトニ思料ス

次ノ第五海面絵図ハ石渡太助方ニアルヲ以テ縦覽差支ナカルベシ
第六第七ノ帳簿及収支等ハ悉皆担当人之件ニ在リ

第八ニ関スル土地持主ノ移転セシ書類モ役場ニ在ルモノト思料ス
右説明之終ルヤ11石渡氏10ニ問フ第一売買ニ関スル書面ニ役場印ア
ルハ如何

10 答テ云フ決シテ役場印ヲ押捺セシ覚ヘナシ若シ有之時ハ窃ニ掠
捺セシモノト思料スルノ外ナシ故ニ此ノ如キ場合ニ立致リタルト
キハ宜ク議會ノ裁決ヲ以テ処分然ルベシ

前第壹ヨリ第八ニ至ル迄之中ニ就キ調査ヲ要スルモノハ委員三名
ヲ選挙シ調査セシム其調査員投票ハ左ノ如シ

七点 二 田 大山庄兵衛

八点 三 田 布川久次郎

八点 三 田 石渡藤太郎

一 石渡七左衛門

一 石渡太助

二 和泉源三郎

前書之通ニ付調査委員ハ布川久次郎石渡藤太郎大山庄兵衛ノ三名
ニ当撰ス但シ調査中ノ手当ハ整頓之后相当ノ報酬ヲ給与スルコト
ニ決ス

石川伊三郎氏曰ク海苔場関係ノ第壹第二第三ノ書面ハ宜シク村長
ノ裁決ニテ可然決而議場ニ提出スヘキモノニ無之ト考ヘラル

第壹ハ各員明日ノ会ニ讓ルコトニ決ス

第式モ同断明日ノ村会ニ譲ル

第三ハ海苔場趣意金ハ担当者ニ於テ会計済之上交付スルコトニ決

ス

第四ハ八ヶ条目中ニ包含セルヲ以テ調査委員ニテ整理ヲ遂クルコ

トニ決ス

右議了之上午後四時閉場ス

追テ第式ハ明日ニ譲ルトセシ所是ハ担当者ニ於テ小作金ヲ徴収シ營業稅繰替等ヲ控除シ殘金ヲ三分六厘ノ鑑札所有者ヘ割渡ス事ニ決ス右記録候也

明治廿三年五月八日

議長 石渡忠右衛門
議員 大山庄兵衛

石渡清次郎

石川伊三郎

石渡藤太郎

和泉源三郎

木村作次郎

石渡太助

倉形治郎左衛門

内田佐五右衛門

伺書

* ほぼ同文の伺書が二通あり、初出のものを採録

当大師河原村會議員ノ中二三子ハ次ノ如キ不体裁モ数度有之其不体裁一二ヲ上レハ先ツ村會開會ニ先テ通達書ヲ送り既ニ諾シテ其當日不參シ又期定時間ヨリ三四時モ遅シ既ニ議事ノ半ニ過クル頃ニ出席シ又ハ議長ノ許可ヲ得ス猥リニ席ヲ離レ喫煙欠伸シ或ハ休憩中無断外出割烹店ニ登リ酔ヲ楼上ニ求メ議長ノ使丁ヲシテ再三之レヲ招クモ優々然トシ恬トシテ知ラザル者ノ如ク又暴飲醉眼朦朧トシ大声疾呼シ議事ノ妨ヲ為スコトアリ此二三子ノ議事其者ヲ輕ク看過シ村會其者ヲ蔑視スルノ甚タシキ言語ニ述カタク如此議員ヲシテ一村ノ代表ヲ委託スルコト生等ノ快トセサル処ナリ如此挙動アリテモ議員

其人ハ責アラサルカ又議會ノ規定シタル範圍ヲ超ヘサルカ生等其是非ヲ知ラズト雖トモ少シク正理ニ戻ルヤト思慮仕候議員其人ノ処形ニアラサル事ヲモ少シモ恥サル大ニ生等一村ノ事ヲ委託スルコトヲ得ス今回ノ如キ事ヲ黙シテ尚ホ一村ノ事ヲ執ラシメハ其レ後日ヲ如何ニセン後日生等ハ此等ノ議シタル事ハ奉セサルモ不都合無之ヤ生等悲憤ノ情ニ耐ヘス此段奉伺上候也

二百廿二名惣代

明治廿三年五月十二日

和泉源右衛門

全 丑五郎

高橋助三郎

郡長宛

【15】

秘川乙第二九号

御巡閱ノ際高等警察ニ関スル取調事項御下命ニヨリ取調候所別紙ノ如クニ候条此段上申候也

明治廿三年五月廿三日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

一 政党ノ種類及其人員並現今ノ模様ヲ區別記載スヘシ

政党ノ種類 人員

大全政社派 六人

大全非政社派 五人

改進黨 六人

一 現今ノ模様ハ政社派ノ自由党ト非政社派ノ自由党間ニ於テ競争ヲナシ居ル模様ニ有之其競争ノ原因ハ左ノ如シ
政社派ノ者ハ衆議院議員ニ山田泰造ヲ出サントシ非政社派ノ者ハ吉田正春ヲ出サントシ五ニ党類ヲ多ク慕リ勝ヲ制サンカ為メ選挙権ヲ有シ居ル者共ヲ勧誘シ自党ヘ引入レント目下五ニ奔走中ノヨシ四五日前ノ事トニテ山田泰造ノ党派員ナル御幸村字南河原ノ河原某ナル者住吉村字木月徳植竹之丞ナル者方ヘ參リ山田泰造ハ堂

々タル人物ニシテ正廉潔白ノ士ナルヲ以テ全人ヲ衆議院議員ノ候補者ナシ度ク是非賛成ナシ呉レ度キ旨依頼シタルノ所竹之丞ハ非政社派ノ吉田正春ノ黨員ナルヲ以テ大ニ反激シ山田ハ堂々タル人物ナルカ否ヤハ知ラス然シ吉田正春モ堂々タル人物ナリ然ルヲ吉田ヲ暗ニ誹謗シ山田ヲ稱賛スルカ如キ口氣アルハ其意ヲ得スト答ヒタルヨリ兩人ノ間ニ激論ヲ生シタリシト云フ

元來河原某ガ遊説員トシテ隣村ヘ至リタル所以ノモノハ他ナシ是迄住吉村ノ村長高橋善右衛門ハ吉田正春ノ党派(ニシテ)ナルニ(所)先般職ヲ辞シタルニ付住吉村ニモ必ス山田泰造ヲ賛成スルモノアラン然ルニ村長ハ吉田派ナルヨリ意ヲ屈シ村長ニ從ヒ遂ニ吉田派ニナリタル者(□)多キナラン今ヤ村長ハ辭職シ其威權ヲ憚ル者ナキナラン故ニ此ノ際遊説セハ意ヲ屈シ吉田派ニナリタル者ハ皆ナ翻ヘリ山田党ニ加担スルナラント思料シ遊説ナシタルノ所遂ニ德植竹之丞方ニ至リタルニ前頭ノ如ク激論ヲ生スルニ至レリト云フ

一 当署部内ニ於テ競争ヲ激ナラシムルモノハ吉田派ト山田派ニシテ目下此ノ兩派ハ互ニ競争シ居ルヨシ(ハニ)而シテ大師河原村ハ山田泰造ノ党派多数ヲ占メ居ル模様ニ有之故ニ山田泰造ヲ衆議院ヘ出サント熱心スル者多ク為メニ演説会ヲ開クコトニ奔走スル者アリト云ヒ探聞スル所ニヨレハ大師河原村料理店梅園ニ於テ來ル廿四日頃ニ政談演説会ヲ開設(スルヨ)シ弁士ハ山田泰造大江卓山川善太郎福井茂兵衛等(ノ者)ガ來ルヨシ亦梅園ノ主人寺尾喜助ハ目下準備ニ奔走シ居ル(ヨシ)ト云フ

一 改進黨ハ敢テ競争ヲ試ミントスル模様ナキモ隱然アルモノナラシテ該党ニ於テハ肥塚龍ヲ挙ケントナシ居ルヨシ
一 自廿二年五月至廿三年四月政談演説会ノ數及其場所並聴衆ノ多寡感動ノ如何

- 一 政談演説会ノ數 三度
- 一 場所三ヶ所左ノ如シ (三ヶ所)
- 一 橘樹郡住吉村寿福院

一 川崎町宗三寺

一 大師河原二百廿四番地伊東市兵衛方

内訳

一 寿福院ニ於テハ改進黨ノ演説

一 宗三寺ハ大ニ全派政社派ノ吉田正春ノ党派演説

一 伊東方ハ山田泰造等ノ演説

一 寿福院ノ聴衆ハ二百名許ニシテ別ニ感動シタルモノナキヨシ

一 宗三寺モ聴衆ハ二百名許ニシテ感動シタルヨシ

一 伊東方ハ聴衆ハ三百名許ニシテ感動シタルヨシ

一 非政談演説会ノ種別開場及度数並聴衆ノ多寡感動ノ如何

一 学術演説会程度

一 場所ハ大師河原平間寺ニテ山田泰造等ノ催シニ係ル

一 聴衆四百名許ニシテ感動ヲナシタル様子ナリ

[16]

秘川乙第三〇号

臨時通報

一 大師河原村海苔営業者ノ集会

本月廿二日ノ夜大師河原村清法院ヘ海苔営業者七十名計リ集会ナシタルヨシニ付其模様ヲ聞クニ東京府下羽田村海苔営業者ヨリ本年二月頃カラ羽田村地先海面ヘ三万五千坪ノ海苔場ヲ増設セントノ計画ヲナシ大師河原村海苔営業者ヘ對シ(願)増設願書ヘ奥印アリ度旨掛合ニ付其答弁ヲ是迄種々相談中ノ所愈ヨ奥印謝絶ノ事ニ決シ海苔営業者答弁委員トシテ倉形治郎左衛門ハ羽田村ヘ至ルコトニ決シタルノ所當時海面組合ノ惣代人ナル子安村長飯田影(「彰」)重カ中裁ニ立入り中裁説ヲ呈出シテ曰ク海面標杭ヨリ何百間ヲ隔テタル所ヨリ三万五千坪ノ増設ヲナスト云フ事ニシテハ如何トノ説ニ全意シ中裁説ノ如キナレハ奥印スル旨倉形治郎左衛門ハ飯田マテ(既)廿四日ニ返答ナシタルヨシ

一大師河原村政談演説会

本月廿四日頃大師河原村ニ於テ山田泰造ノ政談演説会アルヨ
シ報道ナシ置候所一タヒハ右計画アリタルモ目下該村ハ内外
ノ困難紛議蜂起ノ最中ニテ政談演説会ヲ開会スルノ邊ナシト
云フヨリ遂ニ中止シタルヨシ

一大師河原村長石渡忠右衛門辞職

本月廿三日ヲ以テ全村長ハ辞職願書ヲ助役ヘ差出シタルヨシ
ニテ辞職ノ原因ハ目下村内ハ(□)鼎沸ノ如ク種々ノ事件起
リ居ルモ才識ナクシテ之ヲ鎮制スル能ハサルハ赤面ノ至ニ任
ヘス云々ト云フニアリシヨシ

右報告候也

川崎分署長

明治廿三年五月廿五日

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【17】
秘川乙第三号

臨時通報

一大師河原村々長選挙

一本月廿五日午后五時頃ヨリ村会ヲ開キ是迄助役ナリシ木村作
次郎ヲ村長ニ亦書記タリシ杉崎正信ヲ有給(十五円月俸)助
役ニ選挙セシヨシ

一村民ノ一部分ニ於テハ慨歎ナシ居ルト云フ其事由ハ是迄ト雖
モ名誉職トナリタル村長等カ書記ヲ使役ナシ居リタルニアラ
スシテ書記ノ使役ヲ受ケ居リタルモノ也自治制度ヲ布タル今
日ニ於テハ他人ノ為メニ治メラレ村民ハ此ノ治下ニアルト云
フハ該制度ノ趣意ニ反セリ役場書記ハ他ヨリ来リタル者ナル
ニ百事全人ノ指揮ニ出テ村長ハ此ノ指揮ヲ奉シ(奉)務ヲ執リ指揮
ナキトキハ事務ヲ執ル能ハス書記ハ跋扈シ村長ハ此ノ配下ニ
立ツカ如キ觀アルハ恥辱ノ甚シキモノ也

一全役場寺田書記ノ件

右報告候也

川崎分署長

明治廿三年五月廿六日

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【18】
秘川乙第卅二号

秘乙第五十三号ヲ以テ各投票所中最モ保護ヲ要スヘキ場所取調方御
達ニヨリ調査候所左記ノ場所ニ有之

- 第一 川崎町役場
- 第二 住吉村役場
- 第三 御幸村役場

右三ヶ所中最モ注意スヘキハ川崎町役場ニシテ其次ハ住吉村御幸
村ノ二ヶ所ニ有之其他ノ村ハ候補者既ニ確定ナシ居ルノ模様ニ付
通常ノ保護ニテ充分ナラント被存候
右申候也

明治廿三年五月廿九日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【19】
秘川乙第三三三号

定期通報

一 田畑生作物ノ景況

梨子 (一部内ニ於テ) 大師河原ハ梨子ノ名物ニシテ收穫モ尠カラス然ルニ本年ハ雨天勝チナルヨリ生熟ニ大害ヲ及シ毎年百円ノ収利ヲ見シモノハ半額ニ減シ五十円位ナラント云フ

麦 麦モ雨天ノ多キ為メ腐敗シ收穫ハ半額ナラント云ヘリ

米苗 米苗モ粗ハ腐敗ナスモノ多キニ付本年ノ收穫ハ減少スルナラント云フ

菜種蚕豆 菜種蚕豆モ頗ル收穫ヲ減シタルヨシ

之ヲ要スルニ田畑ノ生産物ハ雨天ノ多リシ為メ大概損害ヲ受ケタルモノナラン

一 民心ノ傾向

下等社会ノ人民

此ノ社会ノ者ニアリテハ衣食住ノ三者ニ逐ハレテ他ヲ顧ミルノ違ナシ米価ノ廉ナル年ト雖モ他ヲ顧ミス致タト衣食ノ事ニ奔走シ少シク予裕アルトキハ酒食ニ沈ミ稼業ニ怠リ勝ナルノミ米価ノ騰貴(ハス)ナル(時ニ)方今ニ在テハ一意専心衣食ノ事ニ奔走シ社交上ノ事政治上ノ事ニ心ヲ傾ケ意ヲ注クコトナシ之ヲ要スルニ下等社会ハ年々歳々無智昧ノ域ヲ脱セス(新)進化セサルノ人民ト云フヘシ故ニ此ノ社会ノ民心ノ傾向ハ年々全一ノ点ニアルモノナラン

中等社会ノ人民

此ノ人民ト雖モ米価ノ高キ當時ニ在リテハ衣食ノ事ニ奔走シ社交上政治上ノ事ニ耳目ヲ傾注スルコトナシ然レトモ衣食足りテ後チ礼節ヲ知ルト云フカ如ク此ノ社会ノ人民ニアリテハ衣食ニ逐ハレ他ヲ顧ミルノ違ナキト云フニアラサルヲ以テ社交上亦ハ政治上ノ事ニ奔走スルモノ、如ク目下衆議院議員候補者ノ事ニ心ヲ傾ケ居ルモノ、如シ

上等社会ノ人民

此ノ人民ニアリテハ目下下心ヲ傾ケ居ルノ点ハ衆議院議員候補者選定ノ一事ナリ各党派ハ互ニ勝利ヲ得ンカ為メ名刺ヲ配布シ或ハ親戚朋友(ニ依頼シテ投票ヲ得ントスルヨリ)ヲ使者トシテ選挙権ヲ有スル上流社会ノ者(□□)ヘ依頼スルヨリ此ノ社会ノ者ハ心ニ迷ヲ生スルヲ免レス乃チ甲派ノ候補者ヘ投票セント(ハスル)ノ決心ヲ起スニ際シ乙派ノ候補者(□□)ヘモ投票セサルヲ得サルノ義理合トナリ何レヘ投票スヘキモノナルカ其義理合ノ為メニ攻撃サレ進退ニ窮スル者アルヨシ此ノ如キ景況ナルヲ以テ此ノ社会ノ者ハ候補者選定ニ心ヲ苦メ居ルモノナランカ

一 衆議院議員選挙ノ競争

川崎町ノ景況

当町ニ於テ競争ヲナシ居ルハ山田泰造ノ派ト吉田正春ノ派トモ甚シク隱密中ニ競争ヲナシ居ルヨシニテ其一班ヲ挙ケレハ左ノ如シ

当町ニ呉服商ニシテ富豪ノ聞ヘ高キ島田武助ハ吉田正春ノ党

ニシテ亦武助ハ町内屈指ノ人物ナルヲ以テ正春ハ之ニ依頼シ

全人ノ周旋(□□)ニヨリ投票ヲ得ント欲シ亦武助モ知己ナ

ル者ヲ誘導シ吉田党ニ与ミセシメント力ヲ尽シ居レリ

亦山田泰造ハ旅店会津屋ノ主人田中亀之助或ハ酒商森松太郎

等ヘ依頼シ此ノ者等ノ周旋ニヨリ多ク投票ヲ得ントナシ田中

亀之助等ハ之レカ為メ力ヲ尽シ居ルモノ、如シ

亦右両派ノ外ニ立テ局外中立ノ觀ヲ示シ居ル党ハ改進黨ナリ

此ノ改進黨中ニ於テ鏘々タル人物ハ町長根本助右衛門或ハ岩

田道之助等ニシテ此ノ者等ハ敢テ奔走ヲ盛ンニナシ居ル模様

モナク既ニ該派ノ者共ハ一致団結ヲナシ居ル景況ニシテ敢テ

党勢ヲ拡張スル為メ全志ノ士ヲ募集セントスルノ気合モ見ヘ

ス而シテ根本等力選出セントスル人物ハ肥塚龍ナリト風評セリ

右ハ三派ノ概況ニシテ亦巷説ニヨレハ吉田正春ニ党スル人民ハ

金満家多ク山田泰造ニ与ミスル人民ハ壮士派ノ者多ク故ニ選挙権ヲ有シ居ル者ハ吉田正春ノ方多数ニシテ山田泰造ハ終ニ失敗

ヲ取ルヤモ難計シト風評セリ
各村ノ景況

大師河原村ノ景況ヲ探聞スルニ山田泰造ノ派ノミニシテ他党ノ者ハナシト云ヘリ故ニ役場内或ハ村内ノ紛議甚シキモ政党上ノ事ニ関シテハ別ニ競争ヲ起スノコトナク静謐ナラント意思ス日吉村及町田村ノ二ヶ村ハ村長ヲ始メ村内一般吉田正春一党ニシテ(吉)山田泰造ノ党派ナキヨシ故ニ静謐ナラン

田島村ハ村長等ノ人々ハ山田泰造ニ賛成ヨナシ居ルモ村内ニ吉田正春ヲ賛成スル者アルヨシニテ其者等ハ吉田ハ學問モ人物モ山田ニ比スルトキハ卓越ナシ居ル(所)所アリ云々ト評シ居ルヨシ然シ甚シキ競争ハナシ

(住吉村)御幸村

此ノ村ノ前村長鳥養ハ吉田正春ノ党ニシテ目下助役其他役場員ハ山田泰造派ナルヨシ而シテ(村長ハ選)鳥養辭職以來村長ナキヲ以テ(□)目下選定中ノ(ヨシ然ルニ)所吉田ハ鳥養ニ依頼シテ投票ヲ得ントナシ居リ山田ハ助役或ハ村内屈指ノ金満家ナル齊藤牛(「丑」)之進等ニ結ンテ投票ヲ得ント欲シ暗ニ競争ヲナシ居ルヨシ

(御幸村)住吉村

此ノ村ノ村長徳植竹之丞外役場員等ハ吉田正春ノ党ナルモ他ニ重立タル村民中ニハ山田ニ加担(シ居ル)者アルヨシニ(付テ)之レ亦競争ナシ居ルヨシナリ

一貧民ノ狀況

米価騰貴ノ為メ困難スル者ハ貧民ヲ以テ甚シトス或ハ衣類ヲ買入シテ一時ノ急ヲ凌クモノアリ或ハ家族ヲ減シテ困難ヲ救フ為メ子女ヲ雇人ニ出スモノアリ然レトモ雇主ノ割合ニ少ナキヨシ亦ハ三度ノ食事ニ麦粉ノミヲ以テ常食トナシ居ルモノアリ或ハ衣類ヲ新調セントスル者ハ金ノナキ為メ縋縋ヲ纏ヒ殆ント乞丐ニ異ナラサルモノアリ何レモ困難ノ模様ナリ

右報告候也

明治廿三年六月二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【20】

秘川乙第三四号

臨時通報

一大師河原村、会ノ景況及其他ノ件左ニ

一 本日村会ヲ開キタルニ其議題ハ旧村長内田佐五右衛門カ戸長奉職中會計支払簿ノ明細帳ナキヨリ其支払不明ナルヲ以テ之ニ関スル書類ヲ悉皆内田ヨリ受取り調査セントシ若シ内田ニ於テ引渡ヲ承諾セサルトキハ民事裁判所ヘ起訴セントノ議題ナリト云フ

一 百円ノ示談金

全村會議員大山庄兵衛ト云フ者アリ全人ハ内田佐五右衛門ノ親族ナルヨシ之ノ縁ヲ以テ内田ヘ対シ百円ノ示談ヲ出シテハ如何ト申込ミタルノ所固ヨリ示談金ヲ出スヘキ理由ナシト答ヘタルヨリ大山庄兵衛ハ之ニ反激シ然レハ内田ノ不正ヲ調査セサルヘカラズト熱心此ノ事ニ従事スルニ至レリト云フ

一 村會議員ノ挙動

目下ノ村會議員ハ内田佐五右衛門等ニ示談金ヲ出サセンコトニノミ専ラ奔走シ居ルト云フ

右報告候也

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿